



年 月 日

令和3年度新エネルギー産業（電池関連）創出事業補助金
「空飛ぶクルマの実現に向けた実証実験」編 事業計画書

大阪府知事様

所在地
名称
代表者名

標記について、以下のとおり関係書類を添えて提出します。

1 実施体制

企業の概要	名称	株式会社 ○○		
	所在地	〒000-0000 大阪府○○市○○00-00-00		
	担当者役職・氏名	○○部 部長 ○○ ○○		
	ホームページ	https://www.		
	電話／FAX	00-0000-0000／00-0000-0000	E-mail	0000@○○.com
	資本金	円	従業員数	人
	事業内容 (2行程度)			

2 計画概要

(1) 事業名称	○○における○○を活用した○○実証
(2) 事業実施場所	大阪府○○市○○ ○○川河川敷
(3) 事業実施期間	交付決定日から令和4年3月31日まで
(4) 実証実験の概要	<p>(4行程度)</p> <p>補助事業に採択された場合、この欄の記載内容を基に、計画概要を府のホームページで公表しますので、事業の内容と目標を簡潔に分かりやすく記載してください。</p> <p>○○年頃に大阪の○○エリアにおける○○を活用した、空飛ぶクルマの○○サービスを実現するに当たり、○○が課題となっている。本事業では、○○の課題解決に向けた○○を検証するため、○○を活用し○○を検証する○○実証を、○○地区において試験的に実施し、○○や○○の効果等を検証する。</p>
(5) 実証実験の内容と目標等	<p>① 大阪での空飛ぶクルマを活用したビジネスモデルの内容</p> <p>大阪での空飛ぶクルマを活用したビジネス（想定する運航ルートの離発着ポイントの少なくとも一方が大阪府内にあるもの）の実現に向け、大阪の飛行環境の検証や、運用面での課題などを検証する実証実験が対象になりますので、<u>その前提となる「大阪での空飛ぶクルマを活用したビジネスモデル」について記載してください。</u></p>

② 実証実験を行うことが必要な理由

※①を実現するに当たり、検証すべき技術的な課題、事業効果の検証など、サービスの事業化にあたり実証実験が必要な理由、実証実験を行う目的を具体的に記載してください。

1. 検証すべき技術的な課題

〇〇サービスの実現にあたっては、〇〇年までには〇〇を確認し、〇〇する必要がある。ラボレベルでの実験においては確認が難しい〇〇については、ビジネス化を想定している〇〇エリアでの実地における〇〇実証を実際に行って、〇〇のデータを取得することが、〇〇には不可欠である。

2. 事業効果の検証

〇〇サービスの提供を検討している〇〇エリアについては、現時点で〇〇の可能性はある。〇〇を検討するためには、〇〇システムを実地で試験的に運用することにより、実際に〇〇や〇〇が〇〇にどのような影響を与えるのかを確認し、〇〇を検証することで、〇〇の実現可能性を評価する必要がある。〇〇の評価結果を、〇〇することにより、今後のビジネスモデルの精査に活かしたい。

③ 今回の実証実験の内容と目標

※①②を踏まえた実証実験の内容と目標について、図表、写真等を用いて分かりやすく記載してください。目標については、何が確認できれば目的を達成したことになるのか、成果目標を記載してください。(数値目標がある場合には必ず記載してください。)

当計画書は、審査会でのプレゼンテーションの基となる資料となります。審査委員はプレゼンテーション審査に臨むにあたり、当計画書に記載の内容を事前に読み込み、評価ポイントや質問項目を整理したうえでヒアリング及び質問を行います。

プレゼンテーションでは短時間で簡潔な説明を求めますので、効率的かつ精度の高い審査ができるよう、内容と目標について、具体的に分かりやすく記載してください。

〇か月の間、〇〇エリアにおいて〇〇システムを運用し、課題と効果を把握する。実施にあたっては、〇〇株式会社から〇〇システムの提供を受け、また、〇〇株式会社の〇〇を活用することにより、〇〇を実現する。

〇〇を〇〇の方法で実施することにより、〇〇のデータを取得し、〇〇と比較することにより〇〇を検証し、〇〇の効果を評価する。

(図：実施内容の概要)

想定では、〇〇にかかる〇〇は約〇割であり、〇〇が〇〇になることが確認できれば、〇〇サービスの〇〇が確認できる。そのため、実際の運用環境において、〇〇社の〇〇を〇〇することにより、〇〇が〇〇になるか否かを検証する。

(表：〇〇にかかる現状の実績と目標値)

	<p>④ 実証実験を行うフィールド</p> <p>※大阪府内のフィールド（公園、道路、施設等）について必ず記載してください。その際、【確保済み】、【確保予定】、【未定】の別が分かるように記載をお願いします。また、【確保予定】、【未定】の場合は、いつまでに・どうやって確保するのか、見通しを記載してください。</p> <p>大阪府〇〇市〇〇地区において実証を行う。【確保予定】</p> <p>〇〇地区は、我々が想定する〇〇サービスの候補地と同等の飛行環境を確保できる場所であり、〇〇を実現できるため、〇〇地区で実施することが適切と判断した。</p> <p>過去に実施した〇〇の実証においても、〇〇地区からは協力を得た実績もあり、本事業の実施に対しても好意的な感触を得ている。事業開始後〇か月以内を目途に、〇〇の場で地区の正式な合意を得て、現地での実験を開始する。</p> <p>ただ、〇〇との調整が必要であり、〇〇の結果次第では、別の候補地を検討する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、〇〇の〇〇は使用が困難になる可能性もあることから、〇〇も別の候補地としてリストアップしている。</p>
<p>(6) 目標年次</p>	<p>大阪での事業化目標年を示してください。（現時点での目標で結構です。）</p> <p>2025年 大阪・関西万博で〇〇</p> <p>2027年 〇〇エリアで〇〇</p> <p>2030年代～ 〇〇エリアで〇〇</p>
<p>(7) 実証実験の実施体制と役割分担</p>	<p>応募者、共同実施者、委託先、試験研究機関等の各主体の具体的な実施内容及び関わりについて記載してください。</p> <p><i>適宜、図式などを活用して、それぞれの実施主体の役割や関係性などが分かるよう、記載してください。</i></p> <p>〇〇株式会社及び〇〇の分析を専門とする〇〇大学の〇〇教授の協力を得て、次の役割分担で事業実施する。</p> <p>(図：弊社と〇〇株式会社、〇〇教授の役割分担)</p>

(8) スケジュール

開始から終了までの取組みスケジュールを記載してください。取組み項目と実施主体について簡潔に記載してください。

項目	月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	フィールド調整 (弊社)		⇒	⇒	⇒				
〇〇システムの提供準備 (弊社)			⇒	⇒	⇒				
〇〇地区での実証実験 (弊社、〇〇株)					⇒	⇒	⇒		
実証結果の分析 (弊社、〇〇教授)							⇒	⇒	⇒

3 経費配分案

(1) 経費配分案

(単位：円)

経費区分	細目	補助事業に要する経費	補助事業申請額	備考
実証実験費	事業費 機器レンタル料 設置工事費 等	3,500,000 700,000	/	
	委託費 安全対策費 運搬費 等	1,500,000 2,500,000		
	事務費 保険料 学識経験者・モニター等謝礼費 旅費 会場使用料 等	250,000 700,000 500,000 2,000,000		
	合計	11,650,000	5,000,000	

(2) 補助金以外の経費負担 (補助事業の経費のうち補助金で賄われる部分以外に関する経費)

負担者	株式会社 〇〇	負担方法	自己負担
負担額	補助事業に要する経費－補助事業申請額＝負担額 665万円		

4 他の補助金等の申請状況について

同一事業で、国や地方公共団体、独立行政法人等の公的な補助金・助成金等について申請中又は申請予定の場合は、その名称等を記載してください。

〔これらの補助金・助成金等を受けている場合、又は受けることが決まっている場合は、応募することはできません。〕

公的な補助金・ 助成金等の名称等			
申請（予定）日	年 月 日	交付決定予定日	年 月 日